

保育計画成果報告書

法人名	
施設名	杉の子幼児園
報告者（役職）	大山 美千代（主任保育士）
住所・連絡先	宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋 4 0 - 5
	☎ 0220-22-8066
	E-mail ooyamanpotcamelian@yahoo.co.jp

○タイトル（保育計画）

子供達の豊かな成長のために

○主な助成備品

おでかけワゴン、ままごとウッディキッチン

1. 保育計画策定の目的

杉の子幼児園は東に北上連峰を望み田畑に囲まれた緑豊かな田園風景の中にあります。園児たちは日々の活動の中でもとくにお散歩の時間が大好きです。このお散歩の時間をより安全で充実したものにしてきたらと考えていました。

更に6年前に東日本大震災を経験し突如として起こる災害を日頃から意識し保育活動をするようになりました。毎月おこなわれる避難訓練では月齢の低い園児を連れての避難場所へのスムーズな移動が課題として残りました。

園内の活動時においては広いホールでの合同保育になります。0歳児から3歳児までの園児が安心して集中して活動できるコーナーを作り、それぞれの成長に合わせた保育をしたいと考えていました。

2. 具体的な実施内容

✿おでかけワゴンについて

園の近くをまわるお散歩の時に主に0歳児から1歳児を乗せてお散歩車として使用しました。徒歩で15分位かかる園外活動の場所に移動する際にも0歳児から1歳児を乗せてお散歩車として使用しました。毎月行っている避難訓練の時には避難車として使用しました。更に屋外で一斉に活動する時に、2、3歳児と0、1歳児をわけて安全に活動させたい時や、同じ目線から様子を見せたい時にも活用しました。



✿ままごとウッディキッチン

園内の日あたりの良い場所にままごとウッディキッチンを設置し「ままごとコーナー」を設けました。壁紙も新しいものに張替え明るい空間にしました。入口には牛乳パックを利用して作った門をたて、窓にも可愛らしいカフェカーテンを取り付けました。近くの台にはおもちゃのコンロや手作りの冷蔵庫も設置し棚にはお皿などの小物を種類別に整理出来るような仕切りをつけました。



3. その成果と評価

✿おでかけワゴン

屋外での保育の際に毎日のように大活躍しました。0歳児から3歳児の園児を連れてお散歩に出かける時、お散歩のコースや距離、子どもの体調などを考えながらワゴンに乗せることができました。立ち乗りなのでワゴンの中で自由に移動でき、四方の景色を見せる事ができました。車体も高めなので庭先に咲く花々を眺めたりご近所の方々や犬や猫にも声をかけたりと散歩の時間がさらに充実したものになりました。園児たちの中では1番先頭の場所が人気がありますが、その場所を譲りあったりする様子も見られました。ワゴン内でお互いに微笑みあったり声を掛け合ったりと、優しい気持ちが育まれている様子は微笑ましく散歩中にも園児の成長を垣間見ることができました。

また屋外で一斉に活動する際にも0、1歳児をワゴンに乗せると、2、3歳児クラスの園児達と同じ高さの目線になるので、0歳児から3歳児までが一体となって一緒に楽しめる様子が見られました。

避難訓練では、座り乗りのタイプにあるようなベルトの止め具を取り付ける時間が省かれるため乗り降り時間の大幅な時間短縮ができました。更に大きな車体は安定性がよく、制動性の高いハンドブレーキ、タイヤを固定するフットブレーキ、前面扉のロック機構が装備されているので、保育士も安心して運転する事が出来ました。日頃の活動時にも使われているため園児達の乗り降りもスムーズにでき、慌てずに落ち着いて避難場所まで移動できるようになりました。

❖ ままごとウッディキッチン

木製のままごとウッディキッチンは木のぬくもりが感じられ園内に運び入れた時から園児たちもひと目で気に入りました。コーナーとして区分けしたことにより、その時々に合わせて、そこを利用する園児達によって、変化して遊ぶ様子が見られました。自分がやりたいことを自分の意思で決め行動できるように促すためにも子供達だけの空間ができたことは大きな成果がありました。ままごとコーナーは時にはお店屋さんになったり、食品をつくる工場になったり、家の台所になったり、園児たちの想像力や表現力の成長に驚かされました。言葉のやりとりがなければ自分のイメージを相手に伝えることが出来ない時もあり、言語の使い方の成長がみられました。言葉のやりとりが活発になり会話を楽しむ事ができコミュニケーションのとり方の上でも成長が見られました。

なべ、お皿、お茶碗、スプーンなどの色々な道具を棚や仕切りで種類ごとに収納する習慣が付き、園児の中に道具を大切に使う意識が芽生えました。その習慣は他の玩具の整理整頓にもつながりました。

4. 今後の課題と展望

今回助成をうけ二つの備品を購入させていただきました。屋内と屋外とそれぞれ種類の異なるものですが日々の保育においてそれぞれが園児の成長に大きな影響を与えてくれ、今ではなくてはならないものになりました。

おでかけワゴンは、新年度ごとに入園する0歳児達を安心して乗せる事が出来るように、これからもずっと大切にしていきたいと思います。

ままごとウッディキッチンは、人気のコーナーとして定着していますが、製作の時間を利用して皆で手作りの食材おもちゃを作り、更に温かみのあるコーナーにしたいと考えています。コーナー分けの効果が見られたため、2～3歳児が活動出来る保育エリアと0～1歳児が活動する保護エリアを増やしそれぞれのエリアで更に安心して活動出来るようにしたいと思っています。

職員間でも、もっとこうしてあげたい、こうしたら良いのではないかと活発な意見がかわされ保育の意欲も向上し子供達の成長と共に保育園全体が成長したように思います。助成して頂いたことを心から感謝しております。ありがとうございました。

以上